

第307号

2011年

3月2日

どついたニュース

全損保日動外勤支部

東京都中央区銀座5-13-7

東銀座東京海上日動ビル1階

電話 03-3542-9857

FAX 03-3542-9858

教宣部 発行

職場紹介シリーズ

まごころパートナーズ川口支店

今回はまごころ社開業以来、一向に空調問題が解決しない川口職場からのレポートを取り上げます。

会社の杜撰な対応に 怒り心頭

欄間側に支社の執務スペースが広がっています。反対側は薄い仕切り壁を隔てて、他生保社が入居しています。防音効果が低いため、朝礼での言葉や外務員の方の話し声が聞こえてくる場合があります。



下の写真の椅子の上の天井部分に、およそ1メートルのエアーカーテンの吹き出し口と、11月26日にダクト工事を行

ってできた送風口(30センチ四方の正方形)が見えると思いますが、12月5日の室温計は30度を記録しました。



小手先の対応ではなく、抜本的な対策をとって欲しいと訴えましたが、会社が次に用意したのが次ページの“業務用スポットエアコン”でした。



最初は3相200ボルト用の製品を購入してきま

したが、もちろん電源がないため、持ち帰りました。後日、2相用のデモ機で試運転がおこなわれました。そもそも二人用の支店スペースで、この業務用のスポットエアコンを置かれては執務に影響があると感じていましたが、この機械で空調問題が解決できるのであれば、とってガマンしました。



スイッチを入れると、そこは業務用です。とても大きな音が出ました。「これでは電話がかかってきたら、うるさくて出られませんよ」と言うと、「その時はスイッチを切ってください」と言われ、開いた口がふさがりませんでした。また、本機の上の斜めに伸びる筒から冷風が出て、上方に伸びる太い方の筒から室温よりおよそ10度高い熱風が排気される仕組みになっているのですが、「その排気はどこに捨てるのですか？」と尋ねると、「蛇腹を使って欄間を通し、支社側に排して構いません」と言われました。本当に支社側がこの措置を納得しているか疑問だったので、後日、支社長(まごころ支店

長)に「排気される温度を知っていますか？室温よりおよそ10度高い熱風が排出されるんですよ」と言うと、とても驚いていました。きっと事実が正確に伝えられていなかったと思います。

まごころ社開業以来、川口職場の空調問題について「何とかして欲しい」と訴えてきて、いくつかの対応策が講じられましたが、効果がありませんでした。そして新年を迎え、この期に及んでとられた施策が、こうも非現実的な対応だったことに、怒りを禁じ得ません。どうして会社はもっと真剣に、私たちの職場環境を考えてくれないのでしょうか。

交渉を見れば、ようやくファシリティーズが動くようですが、こうした会社の杜撰な対応が原因で、まごころ社の社長との人間関係や、現場での人間関係もうまくつくりていない実態があります。

以上